

平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月14日

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

上場取引所 大

コード番号 8798 URL <http://www.advancecreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 村上 浩一

TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日

平成22年6月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	3,259	5.0	319	22.2	150	30.4	137	90.6
21年9月期第2四半期	3,104	—	261	—	115	—	72	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	1,251.96	1,246.19
21年9月期第2四半期	675.88	674.79

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年9月期第2四半期	8,189		4,051		41.9	31,370.45
21年9月期	7,554		4,163		46.4	31,879.47

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 3,432百万円 21年9月期 3,505百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	1,500.00	0.00	—	1,500.00	3,000.00
22年9月期	—	1,500.00	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	7.8	900	15.7	600	30.6	400	31.2	3,637.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

※詳細は4ページ【定性的情報】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 112,391株 21年9月期 112,391株

② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 2,963株 21年9月期 2,428株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第2四半期 109,733株 21年9月期第2四半期 106,630株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア地域等の新興国向けを中心に輸出が回復したことで、輸出関連業界には一部持ち直しの兆しも現れ、企業収益も緩やかながら回復基調にあります。

しかし、設備投資の減少、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷は続いており、景気全般はデフレの進行と併せて依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを基本方針とし、多様な「購買チャネル」をご提供し、お客様のニーズに幅広く対応してまいりました。

当社の基幹である日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」は、生活防衛意識の高まりやインターネット活用の購買行動が一般化する中で、引続き圧倒的多数のお客様にご利用頂いております。本サイトにより多様な保険情報の提供と併せ当社の持つ各「購買チャネル」へご案内することにより、新規保険契約の増加に繋がっております。直近では、消費者動向を反映し、インターネットで保険契約が完結するネット完結型商品の実績が著しい伸び（年間収入保険料換算ベース：前年同期比40.2%増）を示しております。

また、リアル店舗である「保険市場（ほけんいちば）」につきましては前期に引続き、3大都市圏のターミナル立地への新規出店と既存店のブラッシュアップを進め、お客様志向の徹底した社員教育の下、「貯蓄や節約」と多様化するお客様ニーズに的確にお応えすることで、実績の伸長を図っております。

さらに、パソコンやモバイルを利用した資料請求や問合せ・相談は着実に増加しておりますので、「提携事業部」を新設し元受保険会社および来店型保険ショップやコンサルティング営業を展開する他の保険代理店と協同して対応する「協業」戦略のさらなる拡大強化を図り、また取扱保険会社の拡大も進め、お客様のニーズに機敏に対応できる体制の強化を図っております。

以上の取組みにより、当第2四半期連結累計期間における新規の保険契約件数は119千件、当第2四半期連結会計期間末の保有契約件数につきましても361千件（前連結会計年度末比10.1%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,259百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は319百万円（前年同期比22.2%増）、経常利益は150百万円（前年同期比30.4%増）、四半期純利益は137百万円（前年同期比90.6%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

保険代理店事業におきましては、上述の展開により当第2四半期連結累計期間の営業収益は3,077百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は336百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

広告代理店事業におきましても、上記「保険市場（ほけんいちば）」のブランド力向上を背景に、Webマーケティング手法をベースとした営業を行い、従来からの紙媒体の広告提案から、インターネット広告へのシフトを図っております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は112百万円（前年同期比4.6%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益18百万円）となりました。

損害保険事業におきましては、営業開始2年目にあたり契約獲得に向け、代理店の拡大、顧客サービス体制の充実等、販売・サービス共に営業体制の拡充を図り、当第2四半期連結累計期間の売上高は58百万円（前年同期比96.7%増）、営業利益は0百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

再保険事業におきましては、当第2四半期累計期間の売上高は11百万円、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は634百万円増加し8,189百万円、負債は746百万円増加の4,137百万円、純資産は112百万円減少の4,051百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加551百万円であります。負債の増加の主な要因は、短期借入金金の増加846百万円であります。また、純資産の減少の主な要因は配当による利益剰余金の減少164百万円でありませ

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ280百万円減少し、979百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、売上債権の増加536百万円（前年同期は119百万円の減少）等により、70

百万円の支出（前年同期は531百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、保険業法第113条繰延資産の取得による支出320百万円（前年同期は272百万円の支出）等があり、572百万円の支出（前年同期は222百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、短期借入れによる収入1,066百万円（前年同期は750百万円の収入）等により、361百万円の収入（前年同期は331百万円の支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年11月13日公表の業績予想数値から変更はありません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に、経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027,226	1,309,769
受取手形及び売掛金	1,927,525	1,376,471
繰延税金資産	187,664	187,664
その他	213,980	226,934
貸倒引当金	△982	△2,141
流動資産合計	3,355,415	3,098,697
固定資産		
有形固定資産	317,290	210,904
無形固定資産		
のれん	187,555	203,940
広告実施権等	206,676	225,402
ソフトウェア	300,324	388,377
その他	160,326	61,757
無形固定資産合計	854,883	879,478
投資その他の資産		
投資有価証券	315,287	335,159
保険積立金	1,323,312	1,311,454
差入保証金	515,440	393,578
その他	295,016	283,174
投資その他の資産合計	2,449,056	2,323,366
固定資産合計	3,621,229	3,413,749
繰延資産		
開業費	141,882	167,514
開発費	68,504	106,262
保険業法第113条繰延資産	973,356	730,771
その他	28,684	37,957
繰延資産合計	1,212,427	1,042,506
資産合計	8,189,072	7,554,953
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,535	14,060
短期借入金	1,746,321	900,000
賞与引当金	119,065	119,842
店舗閉鎖損失引当金	10,946	8,598
その他	1,058,030	1,052,397
流動負債合計	2,947,900	2,094,899
固定負債		
社債	780,000	1,020,000
長期借入金	28,800	75,000
退職給付引当金	44,749	32,630
その他	335,983	168,680
固定負債合計	1,189,532	1,296,310
負債合計	4,137,432	3,391,209

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	615,018	618,507
利益剰余金	60,427	87,990
自己株式	△155,243	△122,193
株主資本合計	3,435,517	3,499,619
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,711	5,942
評価・換算差額等合計	△2,711	5,942
新株予約権	2,060	—
少数株主持分	616,774	658,181
純資産合計	4,051,640	4,163,743
負債純資産合計	8,189,072	7,554,953

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	3,104,014	3,259,043
売上原価	906,174	1,053,553
売上総利益	2,197,839	2,205,490
販売費及び一般管理費	1,936,535	1,886,072
営業利益	261,304	319,417
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,787	3,310
その他	36,278	20,960
営業外収益合計	41,065	24,270
営業外費用		
支払利息	18,850	20,848
開発費償却	87,136	37,758
保険業法第113条繰延資産償却	48,101	89,649
その他	33,102	45,207
営業外費用合計	187,191	193,462
経常利益	115,177	150,225
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,159
保険解約返戻金	—	24,032
特別利益合計	—	25,191
特別損失		
投資有価証券評価損	19,705	—
固定資産除却損	—	29,792
店舗閉鎖損失	29,011	32,016
その他	19,670	—
特別損失合計	68,387	61,808
税金等調整前四半期純利益	46,790	113,609
法人税、住民税及び事業税	52,065	17,658
法人税等調整額	△33,153	—
法人税等合計	18,911	17,658
少数株主損失(△)	△44,189	△41,430
四半期純利益	72,068	137,381

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,790	113,609
減価償却費	131,412	151,811
のれん償却額	6,713	16,408
保険業法第113条繰延資産償却額	48,101	89,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,750	△1,159
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,475	△776
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,249	12,119
受取利息及び受取配当金	△4,787	△3,310
支払利息	18,850	20,848
繰延資産償却額	104,894	72,662
売上債権の増減額(△は増加)	119,142	△536,982
仕入債務の増減額(△は減少)	△61	△524
未払金の増減額(△は減少)	93,672	2,049
その他	67,764	42,498
小計	630,018	△21,097
利息及び配当金の受取額	5,182	4,036
利息の支払額	△16,808	△20,334
法人税等の支払額	△59,857	△47,825
店舗閉鎖による支出	△27,065	△8,954
その他の収入	—	24,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	531,468	△70,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,385	△166,525
定期預金の払戻による収入	350,079	152,940
有形固定資産の取得による支出	△22,796	△15,581
投資有価証券の取得による支出	△232,537	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	200,652	—
無形固定資産の取得による支出	△110,185	△94,911
貸付けによる支出	△200,000	—
貸付金の回収による収入	313,086	9,171
保険積立金の積立による支出	△10,291	△10,426
差入保証金の差入による支出	△40,316	△150,477
差入保証金の回収による収入	29,025	24,140
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	△272,636	△320,409
繰延資産の取得による支出	△6,701	—
その他	△49,446	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,452	△572,079

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	750,000	1,066,321
短期借入金の返済による支出	△721,000	△220,000
長期借入金の返済による支出	△46,200	△46,200
社債の償還による支出	△150,000	△240,000
自己株式の取得による支出	△19,979	△46,504
配当金の支払額	△144,559	△163,700
その他	—	12,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331,739	361,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,722	△280,127
現金及び現金同等物の期首残高	1,152,497	1,259,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,129,775	979,016

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)

	保険代理店事業 (千円)	広告代理店事業 (千円)	損害保険事業 (千円)	再保険事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,957,122	117,382	29,509	—	3,104,014	—	3,104,014
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	28,692	55,429	—	—	84,121	(84,121)	—
計	2,985,814	172,811	29,509	—	3,188,136	(84,121)	3,104,014
営業利益又は営業損失(△)	256,663	18,320	△453	△1,593	272,938	△11,634	261,304

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

	保険代理店事業 (千円)	広告代理店事業 (千円)	損害保険事業 (千円)	再保険事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,077,635	112,000	58,033	11,374	3,259,043	—	3,259,043
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	61,845	58,541	—	—	120,387	(120,387)	—
計	3,139,481	170,541	58,033	11,374	3,379,430	(120,387)	3,259,043
営業利益又は営業損失(△)	336,593	△3,937	26	△12,246	320,436	△1,018	319,417

(注) 1. 事業区分の方法

経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の内容

保険代理店事業 生命保険および損害保険の代理店業。

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱いおよび企画、制作ならびにマーケティング等サービス活動。

損害保険事業 損害保険業。

再保険事業 再保険業。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年10月1日至平成21年3月31日）

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。